

平成28年3月 浜田市議会定例会

平成28年度

当初予算説明資料



浜田市立旭小学校（鳥瞰図）

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田
～ 豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち ～

浜 田 市

平成28年度当初予算の編成概要及び編成方針

編成概要

■国においては「人口減少・超高齢化社会」への対応が喫緊の課題となるなか、本市においても、厳しい経済情勢、雇用状況にある上、高齢化等の進展により社会保障関係経費が引き続き高い水準で推移しております。

■こうしたなか、平成28年度地方財政計画では、地方税が増収となるなかで、地方の一般財源総額は平成27年度を上回る水準が確保されたものの、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額は8千億円の減（△3.7%）となったところです。

■このような状況を踏まえ、本市においても、平成28年度の当初予算の編成では、引き続き『集中と選択』をテーマとし、「中期財政計画」に沿って予算編成に努めてまいりました。

■予算編成に当たっては、裁量経費において施策別予算配当（前年度比1～2%削減）を実施した上で、「元気な浜田」を実現するための政策的経費を確保するなど、新たな総合振興計画や総合戦略に基づき、「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田」の着実な実行を図るため、人口減少対策をはじめとするメリハリの効いた予算の実現に努めたところです。

■加えて、国の子育て支援の拡充など義務的経費の増、また、保育所や特別養護老人ホームの整備に対する支援により福祉の充実を図るほかに、高度衛生管理型荷捌所整備、城山公園整備といった投資事業にも新たに組み込んでまいります。

■一方で、財政運営の健全化のため、約6億円の地方債の繰上償還を実施します。

■このような取り組みの結果、平成28年度の一般会計予算総額は378億7,100万円となり、前年度と比較して、金額で16億4,520万円の減、率にして4.2%の減となりました。

■今後の財政運営に当たっては、国が地方創生を強力に後押ししている状況にあつて、国の支援を活用し、ここ数年は「元気な浜田」を創るために予算を集中投資してまいります。一方で、持続可能な財政体質への転換を図っていくため、行財政改革実施計画を着実に推進してまいります。

平成28年度 当初予算編成方針

基本的考え方

- 平成28年度予算編成については、厳しい経済状況に適切に対応し、将来に希望の持てる元気な浜田市を実現するため、策定中の総合振興計画や総合戦略を念頭に置きつつ、中期財政計画に沿った予算編成を行う。
- 施政方針との連動、重点施策実現のため、経常事業において施策別予算配当を実施する。これにより、歳出の徹底した見直しを行うとともに、一般行政経費の重点化によって財源の捻出を図る。
- 当市においては、市町村合併による国の財政支援措置の縮減が始まる初年度にあたることを念頭に、「予算の集中と選択」を引き続きお願いする。
- 予算配当等の取りまとめについて、裁量経費は部単位で、自治区経費は支所単位で行うので、各部主管課は、当方針の趣旨を十分理解し、各課、本庁支所間等の調整にあたって、特段の努力をお願いする。

平成27年10月1日

財務部長

◆事業別要求区分及び要求の取扱い

区		分	要 求	備 考
経 常 事 業	1 裁量	2～4以外の経費	施策別予算 配当 別途通知による	☆「施策別予算配当」 予算科目の目ごとに予算枠を示し、施 政方針の実現に向け、施策別に必要な 予算配分を行うもの
	2 義務	人件費、公債費、負担 金、積立金、繰出金、 債務負担行為に係る 経費、国県負担金事業 等	所要額	対象事業は「予算要求区分別事業一 覧」を参考のこと
臨 時 事 業	3 政策	ソフト	総枠明示 分野指定	○ 総枠 250 百万円以内 （市費：地方債＋ 一般財源）とする 元気な浜田枠 重点分野 ・産業振興、企業誘致などによる 雇用の場の確保 ・子育て支援、教育の充実 ・高齢者が安心して暮らせるま ちづくり ・その他ロードマップに掲げる事 項 その他 ・イベント、計画策定
		ハード	所要額	○対象事業は、サマーレビュー査定に よること ○災害復旧費を含めること
	4 自治区	ソフト	所要額	○地域振興基金運用方針に基づき要 求すること
		ハード	予算配当	☆「自治区枠（経過措置分）」 平成27年度末までに未消化となった自 治区枠の残額を活用して実施するもの ○自治区ごとの予算配当は「投資的経 費予算配当」によること ○対象事業は、サマーレビュー査定に よること

◆予算要求に当たっての留意事項

- ① 当初予算要求書は、主管課を通じて必要書類とともに4部提出のこと
- ② 当初予算要求書は財務会計システムにより作成することとなるので、操作方法等の理解に努めること
- ③ 社会保障費や附属機関に要する経費等の同一の法令等に基づいて実施する事業については、必ず本庁担当課で取りまとめのうえ予算要求を行うこと
- ④ 上記以外の事業についても、同一の目的で同一の手法により実施する事業は、原則として本庁担当課で予算要求を行うこと
- ⑤ 市全体で実施する経費については、十分調整・精査はされていると考えるが、再度、主管課及び本庁・支所の担当課において、共通ベースとなる部分の調整・精査を徹底したうえで要求すること（一体的なまちづくりに反しない範囲において、地域の個性、特色を活かすまちづくりのための共通ベース部分を上回る経費については、地域振興基金の活用等を検討すること）
- ⑥ 裁量経費の施策別予算配当額については、別途通知するのでそれにより確認すること
- ⑦ 裁量経費において、施策別予算配当額を遵守し要求されたものについては、基本的に要求内容を尊重する（著しい後年度負担を要するもの等、財政的見地から問題があるものは除く）
- ⑧ 裁量経費の施策別予算配当額は、財政課査定により削減された場合でも、各部の配当額は担保する
- ⑨ 地域協力金及び新型交付金の充当については、臨時的な措置であり、その規模も大きいことから⑧の例外として取り扱うので、注意すること
- ⑩ 裁量経費において、施策別予算配当額を踏まえたうえでの若干の配当額の施策間の調整は可能とする
- ⑪ 義務経費は、人件費の一部（職員給与費、議員報酬等、行政委員報酬等、退職手当）、返還金、公債費、国県負担金事業、負担金、積立金、繰出

金、債務負担、リース契約、国県等補助事業で単価設定のあるものに限
定しており、市独自事業や国県等補助事業で限度額設定のみのものは裁
量経費とする

- ⑫ 政策経費（ソフト分）については、「元気な浜田枠」を中心に総額2億
5千万円の範囲内で、以下の分野に重点的に予算配当する
- ・ 産業振興、企業誘致などによる雇用の場の確保
 - ・ 子育て支援、教育の充実
 - ・ 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
 - ・ その他ロードマップに掲げる事項
- ⑬ 政策経費（ハード分）については、サマーレビューの査定結果に基づき、
予算要求を行うこと
- ⑭ 自治区経費（ソフト分）については、地域振興基金運用方針に基づき、
予算要求を行うこと
- ⑮ 自治区経費（ハード分）の予算配当額については、別途通知するのでそ
れにより確認すること
- ⑯ 新規事業については、経費の性格を事業別要求区分に照らしたうえで区
分を決定し要求すること
- ⑰ ⑯の決定に当たっては、財政課と十分に事前の調整を行うこと
- ⑱ 事業別要求区分については、サマーレビューで調整済であり、既存事業
の予算要求段階での区分変更は認めない
- ⑲ 地域振興基金運用方針は次のとおりであり、充当事業についてはこの方
針に沿って要求を行うこと

（中山間地域の活性化のための共通事業分）

- ・ 指定された5事業のみ要求が可能である（裁量経費で計上）

公共交通対策事業、巡回人間ドック事業、農業振興基金事業、
危険木・支障木緊急除去事業、公民館を中心とした問題解決の
支援事業

（自治区枠分）

・ソフト事業のみならずハード事業の財源としても活用できる

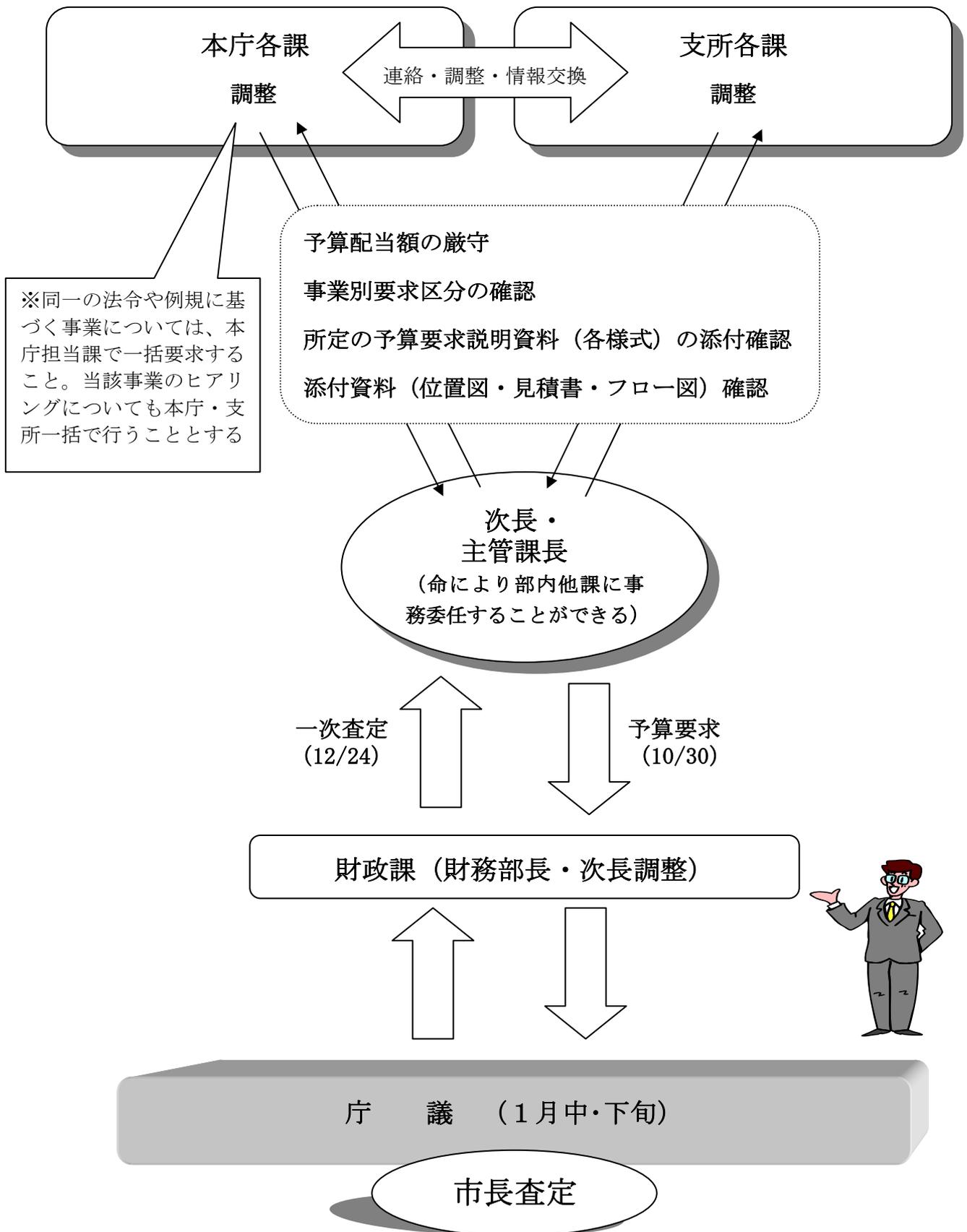
・経過措置分以外の事業は、新たに事業構築したうえで要求すること

- ⑳ 予算ヒアリングの日程は、各部単位で調整しているが、ヒアリングは原則として「課」単位で行うため、部内のヒアリング順については主管課で調整のうえ、必ず主管課が同席すること
- ㉑ 上記③④の同一の事業について、予算ヒアリングを本庁・支所別々に実施することがあってはならないので、十分留意すること
- ㉒ 財政サイドのヒアリング出席者は、財務部長、次長、係長、予算担当者を予定している
- ㉓ 財務会計システムによる予算要求書に加えて、所定の予算要求付属資料（債務負担行為事業明細書、投資的経費説明資料、地域振興基金充当要求書等）がある場合は、必ず提出すること
- ㉔ 予算要求付属資料「様式12 地域振興基金充当要求書」は、必ず防災自治課の確認を得たうえで、主管課より提出すること
- ㉕ 嘱託・臨時職員の要求については、必ず本庁においては人事課、支所においては防災自治課と事前協議のうえ要求し、要求書においては積算基礎欄の数式機能を利用し算出根拠を明らかにすること（人数、月数等）
- ㉖ 上記②③④⑤の他、ハード事業については位置図、平面図、見積書等、ソフト事業についてはフロー図等を添付し、ヒアリングの際にはそれを用いて分かりやすい説明に努めること
- ㉗ 事業予算の分離、統合が必要な場合は、当該事業を担当する本庁・支所間で十分なすり合わせを行い、主管課を通じて予算の整合を図ること
- ㉘ 監査委員による指摘を十分踏まえたうえで要求を行うこと
- ㉙ 事業予算は目的別に編成するものであり、事業の一部を他部課で実施する場合においても当該事業内で予算化し、他部課へは予算の配当替により対応すること

◆予算編成日程（予定）

- 10月 1日（木） 予算編成方針説明会
（10時00分～：本庁講堂ABC）
- 10月30日（金） 要求書提出期限（4部提出）
15：00まで（締切厳守）
- 11月 2日（月）～ 財政ヒアリング(査定)・・・ヒアリング日程表参照
- 12月24日（木） 一次査定内示（予定）
- 12月25日（金） 復活要求書（様式10）提出期限（締切厳守）
- 1月 8日（金） 市長ヒアリング要求書（様式9）提出期限
15：00まで（締切厳守）
- 1月 中・下旬 庁議ヒアリング・市長査定(当初予算決定)

◆予算要求・決定の流れ



予算要求と査定結果

(単位:百万円)

平成28年度当初予算		議会	総務部	地域政策部	財務部	健康福祉部	市民生活部	産業経済部	都市建設部	消防本部	教育委員会	上下水道部	合計
		事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
裁量	要求	25	661	312	94	1,181	580	865	860	146	1,214	0	5,938
	査定	25	652	306	94	1,177	580	862	860	146	1,199	0	5,901
	差引	0	△ 9	△ 6	0	△ 4	0	△ 3	0	0	△ 15	0	△ 37
義務	要求	173	5,709	181	6,980	7,428	2,970	466	100	60	448	1,408	25,924
	査定	173	5,699	181	6,980	7,427	2,970	466	100	60	445	1,363	25,864
	差引	0	△ 10	0	0	△ 1	0	0	0	0	△ 3	△ 45	△ 60
政策ソフト	要求	0	48	71	0	375	0	205	72	3	55	0	828
	査定	0	48	71	0	375	0	192	72	3	55	0	816
	差引	0	0	0	0	0	0	△ 13	0	0	0	0	△ 12
政策ハード	要求	0	55	0	0	395	764	1,053	1,222	165	466	53	4,172
	査定	0	55	0	0	395	764	1,053	1,189	165	459	53	4,133
	差引	0	0	0	0	0	0	0	△ 33	0	△ 7	0	△ 39
自治区ソフト	要求	0	0	112	0	1	3	86	0	0	2	0	204
	査定	0	0	99	0	1	2	83	0	0	2	0	186
	差引	0	0	△ 13	0	0	△ 1	△ 3	0	0	0	0	△ 18
自治区ハード	要求	0	91	18	0	16	0	162	586	0	111	0	984
	査定	0	83	18	0	16	0	162	583	0	111	0	971
	差引	0	△ 8	0	0	0	0	0	△ 3	0	0	0	△ 13
合計	要求	198	6,564	693	7,075	9,395	4,317	2,836	2,841	374	2,295	1,461	38,049
	査定	198	6,536	674	7,075	9,390	4,315	2,818	2,804	374	2,271	1,415	37,871
	差引	0	△ 28	△ 19	0	△ 5	△ 2	△ 18	△ 37	0	△ 24	△ 46	△ 178

※上記の金額は、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
1 まちづくり推進課	まちづくり総合交付金事業 【事業概要】 自主的な活動を行う町内会等に対し、活動に要する経費の一部を補助することにより、住民全体のまちづくりの推進を図る 【主な要求内容】 ○嘱託職員 2,074千円 ○まちづくり総合交付金(制度見直し) 110,130千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 72,100 その他: 0	112,538	112,538	要求どおり 住民主体のまちづくりを支援する目的で、地区まちづくり推進委員会や町内会等の住民自治組織に対し交付金を交付する事業を行ってきたが、平成28年度からは内容を一部見直し加算制度を追加。事業内容を確認し予算化。
2 政策企画課	はまだ暮らし応援事業 【事業概要】 UIターン者の増加を目指し、都市部からインターンシップによる受け入れや、浜田市に定着するための支援を行う 【主な要求内容】 ○嘱託職員(空き家バンク担当) 1人 2,167千円 ○介護人材確保のためのシングルペアレント受け入れ事業 19,379千円 ○はまだ暮らし体験事業 1,520千円 ○U・Iターン者との意見交換会開催経費 200千円 ○はまだ暮らし住まい応援事業 6,000千円 空き家片付け補助 補助率2/3 上限5万円 空き家改修補助 補助率2/3 上限50万円 多世代同居改修補助 住宅リフォーム助成に10万円上乘せ 【特定財源】 国県支出金: 5,000 地方債: 0 その他: 0	29,266	28,324	事業費精査 平成27年度からの事業で、事業メニューのうちシングルペアレント受入事業は全国的に先進的な事業として注目を浴びた。介護人材確保の視点を拡大し准看護学校生を対象に加える要求に対し、医師会との調整や他業種への拡大の考え方が十分整理されていないため、引き続き検討することとし、准看護学校生については減額。
3 政策企画課	総合振興計画管理事業 【事業概要】 第2次総合振興計画及び総合戦略の進捗管理を行う 【主な要求内容】 ○審議会開催経費 719千円 ○市民満足度アンケート調査委託 1,944千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	2,663	719	事業費精査 平成27年度予算で「第2次浜田市総合振興計画」を策定。今後は計画の進捗管理を行うことになるが、要求内容にあった「市民満足度アンケート調査」については、本来計画策定前に行うことが効果的であることから後期計画策定時に実施することとし減額。
4 健康長寿課	地域包括支援センター運営事業 【事業概要】 社会福祉士、保健師、主任ケアマネージャーを配置し、介護に関する総合相談、サービス調整機能等を担う 【主な要求内容】 ○総合相談や高齢者虐待、権利擁護への対応 ○介護予防ケアマネジメント ○地域の包括的な支援体制整備 ○サブセンターの設置(嘱託保健師 2人) 4,957千円 ○市民後見推進事業(県3/4) 150千円 ○支援システム端末更新(サブセンター連携) 12,204千円 【特定財源】 国県支出金: 112 地方債: 0 その他: 63,180	63,330	63,330	要求どおり 高齢者に関する総合相談、サービス調整機能等を担い地域包括ケアの実現を目指すため、地域包括支援センターのサブセンターを各支所に設置し専門職を配置。法に定めるものであり事業効果も期待され予算化。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
5 子育て支援課	安心お産応援事業 【事業概要】 お産応援システム体制等総合的な支援により安心して妊娠、出産できる環境づくりを構築する 【主な要求内容】 ○一般不妊治療費助成 2,750千円 ○ママパパ学級の開催 他 132千円 ○妊婦健康診査 41,218千円 健康診査の公費負担(14回) ○特定不妊治療助成 4,350千円 ○不育治療助成 250千円 【特定財源】 国県支出金: 2,775 地方債: 0 その他: 0	48,700	48,700	要求どおり 一般不妊治療助成事業の拡大の要求に合わせ、新たに特定不妊治療及び不育治療の助成事業を追加する内容の要求。政策的に重要と判断し予算化。
6 農林振興課	「元気な浜田」農産物振興プロジェクト事業 【事業概要】 農業算出額1億円以上の浜田市の顔となる農作物を振興することで、農家所得の確保と農業意欲の高揚を図り、地域農業の持続的発展を目指す ○期間: H26~H30 【主な要求内容】 ○専門機関研究委託 1,000千円 ○振興作物耕作施設整備補助 32,642千円 ○実証圃設置・管理補助 7,626千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	42,022	42,022	要求どおり 浜田市の顔となる農作物として大粒ぶどう、西条柿、赤梨を指定し普及振興を図ることで、農家所得の向上と地域農業の持続的な発展を目指す事業。施設整備への補助を前年度より増額。事業内容及び事業費を確認。
7 旭支所産業建設課	市木ふれあい広場整備事業 【事業概要】 学校統合に伴い閉校となった市木小学校の校舎を解体撤去し、朝市、産直市及び島根県雪合戦大会をはじめとする地域イベントの開催等、市木地区の資源や特性を活用し、地域活性化に結びつけることを目的として、交流拠点の整備を行う 【主な要求内容】 ○校舎等解体工事 ○ふれあい広場等整備工事 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 132,400 その他: 0	139,450	139,450	要求どおり 閉校した市木小学校の跡地を有効に活用するため、地域の交流拠点として整備し、併せて非常時に備えた防災センター機能を整備する事業。地域活動の拠点として期待される事業であり、内容と事業費を確認。
8 農林振興課、各支所産業建設課	農業振興基金事業 【事業概要】 地域特性を活かした農業を推進し、農業を核とした地域振興を図るため、平成27年度までの地域振興基金を活用した各自自治区の独自事業を検証した上で、農地保全に向けた実効性の高い事業を全市事業として再構築し、地域農業の維持、発展の支援を行う 【主な要求内容】 ○サポート経営体等育成支援事業補助金 10,000千円 ○畦畔除草省力化推進事業補助金 5,000千円 ○農産物流通改善事業補助金 2,500千円 ○原木椎茸生産振興事業補助金 4,250千円 ○農業経営育成支援事業補助金 5,000千円 ○土地利用型作物転作推進事業補助金 3,000千円 ○担い手規模拡大支援事業補助金 7,000千円 ○獣肉処理加工施設運営事業補助金 900千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 37,650	37,650	37,650	要求どおり 農業を核とした地域活性化を図るため農業振興基金を造成し、地域ぐるみで地域農業の維持、発展を支援するもので、向う6年間、基金事業として新たに取り組む。関係各課から事業メニューを募集し事業構築。事業内容及び事業費を確認。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
9 水産振興課漁 港活性化室	高度衛生管理型荷捌所整備事業 【事業概要】 所在地：原井町 浜田漁港に高度衛生管理型荷捌所を整備し、生産・流通機能の強化及び水産物の衛生管理の高度化に取り組み、産地競争力の強化を図る 【事業期間】 H28～H32 【主な要求内容】 ○設計測量調査業務委託 【特定財源】 国県支出金：36,000 地方債：18,000 その他：0	54,000	54,000	要求どおり 浜田漁港の衛生管理の高度化に取り組むことで、安全で良質な水産物の流通による魚価の向上や外来船による水揚げ量増加が期待され、水産物の活性化につながる。平成28年度～32年度までの5年間の事業期間であるため、事業内容や事業費を確認。
10 水産振興課	三隅火力発電所温排水活用調査事業 【事業概要】 三隅火力発電所温排水を活用した養殖事業の可能性について調査を行う 【主な要求内容】 ○温排水活用調査委託 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0	1,394	0	予算化見送り 三隅火力発電所温排水を活用した養殖事業の可能性について調査検討する要求であるが、ヒアリング段階で火力発電所付近での事業実施ができないことが判明。温排水を送水する管路が延びれば水温の低下など新たな課題が発生し事業費が高騰するため事業化を見送り。
11 産業政策課	萩・石見空港緊急対策事業 【事業概要】 東京線2便化確保に向けた、萩・石見空港の更なる利用促進を図るため、浜田市独自の利用費補助を実施するとともに、補助交付を浜田市共通商品券で行うことで、市内経済の活性化を図る 【主な要求内容】 ○萩・石見空港利用促進補助金 19,308千円 65歳未満 4,000円助成 65歳以上・サポーター企業 6,000円助成 大学・専門学生往復（保護者が浜田市内在住） 4,000円助成 ※片道利用者は上記の1/2の金額を補助 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：19,700 その他：0	19,718	19,718	要求どおり 萩・石見空港利用拡大促進協議会の構成自治体として、萩・石見空港の2便化維持に向け独自の補助制度に取り組むもので、実績として搭乗率も上がってきている。対象者の拡大と補助単価を見直す要求であり、搭乗率の向上のために適当と判断し予算化。
12 産業政策課	食による賑わい創出事業 【事業概要】 道の駅「ゆうひパーク浜田」を食による賑わいの創出拠点に位置付け、「地域おこし協力隊」制度を活用して市内各地の食材を使った魅力ある料理・加工食品の研究開発を行う 【主な要求内容】 ○地域おこし協力隊報償金（2人） 4,800千円 ○人材育成研修委託費 1,809千円 ○はまだ食の大使による地元産品消費拡大セミナー 1,610千円 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0	9,359	5,576	事業費精査 「地域おこし協力隊」制度を活用して事業効果を上げる内容を含む事業。協力隊員を新たに1名追加する要求に対し、現在活動中の協力隊員を含めた複数配置が必要か疑問。隊員の増員要求を見送るとともに研修内容精査により減額。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
13 産業政策課	BUY浜田推進事業 【事業概要】 浜田産品の購買促進として「BUY浜田」を推進するため、先進地視察などの調査研究を行うとともに、浜田産品を販売する店舗等への啓発資材の提供支援を行う 【主な要求内容】 ○先進地視察 91千円 ○啓発資材作成費等 945千円 ○講演会開催経費 440千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	1,726	1,286	事業費精査 事業内容に、市民に対し地域内での消費循環意識向上を目的に講演会を開催する経費が要求されたが、講演会開催の効果に疑問があり講師謝金及び旅費分を減額。
14 三隅支所防災自治課	和紙の郷運営事業 【事業概要】 所在地: 三隅町古市場 国の重要無形文化財である「石州半紙」の伝承等を目的として整備した和紙の郷の管理運営に要する経費 ※指定管理から直営に運営形態を変更 【主な要求内容】 ○嘱託職員 4人(館長 1人、事務・紙漉き担当 3人) 9,559千円 ○施設管理費(光熱水費・委託料等) 2,663千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 10,443	16,118	16,118	要求どおり ユネスコ無形文化遺産の再指定を受け、石州和紙の文化・芸術分野だけの取組みのみならず、工業製品として販路を拡大するための営業に重点を置く内容を確認。営業に必要な予算規模を確認。
15 観光交流課	「ようこそ！浜田」事業 【事業概要】 「ようこそ！浜田」のキャッチフレーズのもと、「お宝観光資源」を活用した「観光おすすめコース」の充実を図るとともに、ボランティアガイドの育成・充実のための勉強会などに取り組み、地域の魅力発信を行う 【主な要求内容】 ○観光ツアー商品造成 1,000千円 ○レンタサイクル実証実験 300千円 ○ボランティアガイド育成勉強会 144千円 ○浜っ子春まつり拡充事業委託 4,204千円 ○浜田PR大使及び浜田応援団活動経費 1,000千円 ○邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業 1,000千円 ○外国人旅行客誘致対策(モニターツアー・パンフレット作成) 1,500千円 ○石見曇ヶ浦ジオラマ製作委託料 1,944千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	15,058	13,114	事業費精査 浜田の観光資源を活用した「観光おすすめコース」の充実を図り交流人口の増加を目指す事業。事業内容の中に石見曇ヶ浦ジオラマ製作委託料の要求があったが、事業効果に疑問があり、この委託料部分を減額。
16 観光交流課	広浜鉄道今福線観光資源活用事業 【事業概要】 (公社)土木学会選奨土木遺産にも認定された構造物を含む広浜鉄道今福線を浜田の貴重な観光資源と捉え、定期的、継続的に観光客が訪れる環境の整備を行う 【主な要求内容】 ○今福線旅行商品造成委託 ○支障木伐採委託 ○パンフレット作成、ガイド養成研修 ○バイオトイレ設置工事 ※シンポジウム終了 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	7,293	7,293	要求どおり 前年度のシンポジウムの開催等については、マスコミ関係者にも取り上げられ広くPRされた。今後、観光客の増加も期待され、受入体制としてトイレ設置や支障木伐採関係費などを要求。トイレについては維持管理費が発生するが、バイオトイレを選定することで維持費を軽減。清掃業務は地元が行うなど地域住民の協力が得られることから予算化。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
17 観光交流課	千畳苑改修事業 【事業概要】 国民宿舍千畳苑の改修に係る経費 【主な要求内容】 ○空調設備改修工事 ○温浴設備改修工事 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 62,700 その他: 0	62,708	62,708	要求どおり 国民宿舍千畳苑は、改築後17年を迎え各設備は塩害の影響もあり損傷と老朽化が激しい。現状では施設運営に支障をきたす恐れがあり、必要最小限の設備改修を行うため予算化。また、改修事業に有利な起債の充当が可能となることから特別会計から一般会計へ移行することも確認。
18 金城支所産業 建設課	おもてなし向上取組支援事業 【事業概要】 観光事業者が取り組む事業を支援することで、交流人口拡大や経営改善に向けた取り組みを誘導し、地域経済の活力の増進を図る ○期間: H28~H30 【主な要求内容】 ○おもてなし向上取組支援事業補助金 5,000千円 ソフト補助 補助率: 1/2 (限度額: 250千円) ハード補助 補助率: 1/2 (限度額: 1,000千円) 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 5,000	5,000	3,000	事業費精査 金城自治区の重点政策の一つである観光振興について、ソフト面、ハード面から事業者自ら取り組む事業に対し補助を行うものであるが、CM制作など事業内容の一部に事業効果の不透明なものがあり、事業内容を見直したうえで減額。
19 金城支所産業 建設課、旭支 所産業建設課	除雪車等整備事業 【事業概要】 除雪車を新たに購入して迅速に除雪対応できる機動力を確保するとともに、市有地に格納庫を整備して、車両の劣化軽減を図る(社会資本整備総合交付金事業) 【主な要求内容】 ○除雪車格納庫整備本体工事(金城) 一式 ○除雪車購入(金城、旭) 2台 31,000千円 【特定財源】 国県支出金: 34,000 地方債: 10,900 その他: 7,018	52,018	52,018	要求どおり 要求内容は市保有の除雪車の老朽化に伴う更新及び新規購入、併せて車両の劣化を軽減するための車両格納庫整備。公共施設再配置方針を踏まえたうえで自治区事業の優先確保の観点から要求どおり予算化。
20 建設整備課	城山公園整備事業 【事業概要】 浜田城跡地を含む城山公園を再整備して、住民が気軽に安心して訪れることができる交流の場を提供するとともに、平成31年の浜田開府400年記念事業のメイン会場として活用する 【事業期間】 H28~H31 【主な要求内容】 ○進入路測量設計業務委託 一式 ○文化財発掘調査 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 51,000 その他: 0	62,000	62,000	要求どおり 浜田城周辺整備事業については、整備方針を時間をかけ議論を深めて作成する必要があるという理由から平成27年度予算化を見送り。城山周辺整備検討会を組織し検討を重ねてきたことや市議会との意見交換会の開催を踏まえたうえ、事業概要や事業費を確認し予算化。

